

作成日 2023年7月19日

奥羽大学における研究の実施とご協力のお願い

奥羽大学歯学部口腔外科学講座歯科麻酔学分野では、本学の倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。これらの研究は、文部科学省、厚生労働省、経済産業省が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究対象者が容易に知り得る状態を確保しなければなりません。また、研究対象者となる患者さまに対して研究内容の情報を公開し、拒否機会を保障するものでもあります。本学における診療情報や試料の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年7月

奥羽大学歯学部口腔外科学講座歯科麻酔学分野

山崎 信也

研究課題名:

全身麻酔における呼気温/吸気温モニタリングの有用性

研究期間:

2023年4月～2024年3月

研究の目的・意義:

全身麻酔では体温を持続的に測定する必要があります。末梢温は手足に、中枢温は直腸や膀胱に、深部体温は腋窩部にセンサーを貼付する必要があります。これらのモニター装着は一般的ですが、安全性を損なわずに、可及的に体幹に対するモニター装着は簡略化させるべきです。肺から呼出される呼気終末の温度は肺胞温を反映する可能性があり、これを中枢温として利用できれば、体幹へのモニター装着によるトラブルや煩雑性を回避することが可能となります。

気管内全身麻酔において、通常通り中枢温や末梢温をモニターすることに加え、挿管された気管チューブ末端に反応速度が速い温度センサーを装着し、呼気や吸気の温度も同時にモニターすることを試みます。得られたデータを解析し、終末呼気温のモニターが、中枢温をどれほど正確に反映しているかを統計学的に検討します。

研究対象となる方:

当院で気管内全身麻酔下に口腔外科手術や歯科処置が予定された患者(約300名)を予定します。健康な患者に限定し、年齢はデータ採取の観点から広めに3歳から80歳までの男女とします。

研究の方法:

気管内全身麻酔において、通常通り中枢温と末梢温を持続的に測定することに加え、挿管された気管チューブ末端に反応速度が速い温度センサー(ニプロ CE サーモ, ニプロ, 東京)を装着し、呼気および吸気の温度も同時にモニターします。診療録や麻酔記録からも、身長、体重、性別、現病歴、既往歴、内服薬、臨床検査結果などのデータを記録します。

研究組織:

主任研究者: 奥羽大学歯学部 口腔外科学講座 歯科麻酔学分野・教授・山崎信也
分担研究者: 奥羽大学大学院 歯学研究科 生体管理学・大学院生・月田友哉

他の機関などへの試料・情報の提供について:

他の機関に提供する試料・情報はありません。

この研究に関する問い合わせについて:

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先:

〒963-8611 福島県郡山市富田町三角堂 31-1
奥羽大学歯学部口腔外科学講座歯科麻酔学分野
担当: 山崎 信也
電話: 024-932-9337
e-mail: s-yamazaki@den.ohu-u.ac.jp